

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表:令和 6年 3月 15日

事業所名 生活クラブあのお家 保護者等数(児童数)26 回収数 13 割合 50%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	10	3		・事業所に訪問する機会がほとんどないため、不明。 ・活動しているときを見たことがなく、保護者が今度見学できればと思います。	子どもたちの活動の様子をご覧いただく機会として昨年度から、お迎えなどで事業所にいらした際には、引渡し場所を2階放デイの入口で行うように変更いたしました。いつでも見学は歓迎です。お時間がありましたらお越しください。
	② 職員の配置数や専門性は適切である	7	4	2	・新しいスタッフがいることは送迎時に分かるが、どのような専門性を持った方が説明されたことがない。 ・昔と比べるとスタッフ数が少なくなったように感じますが、運営基準は守られているように思います。 ・人の入れ替わりが多いため、どんなスタッフが居るかわかりづらい。	契約しているスタッフの人数は減っていますが、1日の配置人数は基準よりも多く加配しています。 新たに放デイ経験者と作業療法士の2名が入職しましたが、その他の職員5名は開設時から、1名は3年半努めています。 ・現在の職員が保有している資格等は児童指導員、保育士、幼稚園教諭、看護師、強度行動障害支援者、作業療法士、教員免許、子育て支援員、発達サポーター
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	9	4		・事業所に訪問する機会がほとんどないため、不明。	・2階の支援室まで手すり付きの階段を使用いただいています。エレベーターはスイッチのいたずらや閉じこもり・見失い防止のため日常的に運転を停止しておりますが、必要に応じて稼働するための法令に則り年4回の定期点検を実施しております。 ・建物自体は高齢者のデイサービスとして建築されたこともあり、施設内はバリアフリー化されています。
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	9	3	1	・1年以上、支援計画が作成されず、面談もない。	・児童発達支援管理責任者不在で支援計画の更新ができず、皆様にはご迷惑をおかけして大変申し訳ございません。 昨年度から東京都と継続的に相談を重ねてきました。開設以来、児童発達支援と放課後等デイサービスの規模別多機能事業所として、児童発達支援管理責任者は2名配置が必要でしたが、一体型多機能に変更することで、児童発達支援の児童発達支援管理責任者が兼ねるよう変更届を提出しました。 ・個別支援計画は順次作成を進めています。 個別支援計画の策定過程である、職員のモニタリングやケア会議は定期的に行い、日頃の支援に反映してきました。 ・面談や相談につきましては、管理者の中村が日頃のお子さまの様子やケア会議の中で職員の見解も踏まえ、分析してお伝えしながら、順次ニーズを伺ってきました。子どもたちにも日頃から意見を聞き、保護者様にお伝えして情報共有に努めてきました。今後の支援計画に反映してまいります。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	10	3		・1Wごとのプログラムなので、連続利用するとプログラムが重複する。	・週1回利用の方もいらっしゃいますので1Wプログラムにはなるのですが、曜日によって子どもたちの年齢・発達の様子、興味関心も違いますので、11月からは子ども主体の子ども会議でお楽しみ会の内容を話し合ってもらい、決めていくという取り組みを始めたところです。 同じテーマではありますが、自分たちの意見を反映したプログラムですので、毎日が違う独自性のあるプログラムになりました。今後も子どもたち主導の会議で意見を聞きながら、楽しんで参加できるプログラムを実施していきたいと考えています。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	3	5	・現時点ではなさそう。 ・あまり実態がわからない。 ・児童館のイベントに参加するようなプログラムを取り入れてほしい。	・子どもたちの年齢層に幅があるため、一律に全員での児童館遊びとはならないのですが、支援員も同行が必須になりますので、希望を募って少人数から行いたいと思います。 ・障がいのない子どもと活動する機会としては、公園遊びで地域の子どもたちが集まってくるので、遊具の順番待ちなどでも関わるきっかけになっています。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	5			・支援の内容についてはHUGの連絡帳に移行して、より詳しく日々の支援内容をお伝えできるようになりました。内容に説明不足やわかりづらいところ、支援に対するご質問等ございましたら、コメント欄をご活用ください。お返事しながら、わかりやすい支援内容の情報提供に努めてまいります。 ・利用者負担については契約時とは利用状況の変更がありますので、毎月お届けしている個人の請求明細書の通りではありますが、現在児発管欠如減算での利用者負担額になっています。4月以降は児童発達支援管理責任者配置となりますので、改めて利用負担額一覧表をお示しいたします。 また、令和6年度の報酬改定で大きく変更が予定されているため、詳細については決まり次第お知らせしてまいります。 ・買い物練習やイベント企画にかかる利用者負担については、事前に内容や参加費用についてのお便りを連絡袋に入れて配布しております。HUGでのお便りも重ねてご覧いただけるよう、お知らせしておりますので、【参加】【不参加】のお返事をお願いいたします。

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	10	2	1	・1年以上、支援計画が作成されず、面談もない。	・今日の様子などは送迎時に直接お伝えするようにはしていますが、詳しくお伝えする時間がないのが現状です。 ・サービス提供記録をHUGの連絡帳に移行して、より詳しく日々の支援内容をお伝えできるようになりました。保護者の方々から支援内容に対するコメントもお寄せいただいておりますので、お子さまの状況については紙の連絡帳よりも詳しく様子を記載できるため、共通理解につながってきているものと実感しています。 ・児童発達支援管理責任者の配置ができましたので、順次作成してまいります。
⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	8	4	1	・1年以上、支援計画が作成されず、面談もない。	・面談や相談につきましては、管理者の中村が保護者の方からのお問い合わせや相談希望、施設としての支援課題を優先し、順次行っています。日頃のお子さまの様子やケア会議中でのスタッフの意見もお伝えし進めてきました。 ・ご希望に沿って事業所内相談支援という形で面談も行ってあります。またお忙しい場合はお電話やHUGメールでのやり取りで、対応できるように努めているところです。お気軽にご連絡ください。
⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	7	5	1	・今年度は保護者会が開催されたようだが、都合がつかず不参加。 ・保護者会の欠席者に対して、情報共有がない。 ・土日にイベントがあれば、保護者も参加しやすいのでは。 ・数回しか行われた記憶がない。コロナとかもあり仕方ないと思う。	・2023年度はコロナ明け初めての保護者会を開催しました。職員紹介もかねて開催しました。保護者様同士やスタッフとの顔合わせ的な会となりました。懇親会（茶話会）としてゲーム要素も取り入れた会でした。今後も保護者間の交流が進む内容構成にしたいと思っています。保護者会の報告もお伝えしてまいります。 ・子ども参加の（土）イベントとして、夏・冬の「暗闇体験」、秋の「芋掘り」を開催しました。 ・家族参加で楽しめる企画として、3月30日（土）施設の地域開放で『桜まつり』を開催します。子どもたちの作品展、東京おもちゃ博物館からの移動型遊びの広場も出店します。ぜひご家族で三沢川の桜を楽しみながらお越しください。支援室からの桜の景色は最高です。
⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	4	1	・苦情が特にないのでわからない。	・苦情や虐待相談窓口として、第三者委員の連絡先も併せて玄関ホールに張り出していますが、HUGでも受付できるようにお知らせします。 ・苦情は口頭、電話、書面、ご意見箱など、保護者様が表出ししやすい方法を選択できるようにいたしました。 ・苦情解決の仕組みを職員全体で周知し、担当者以外でも保護者の方から苦情と判断できるお話しを伺った場合は、代理として受付し書面化して担当者への引継ぎを行うことでより迅速な対応となるよう努めてまいります。
⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	11	2			・今日のプログラムを知らせるときには映像を使っています。 ・お子さまとの意思疎通については、集団の中であっても、所要所で個別に対応する時間を活用して担当者が話を聞いたり、必要なお子さまについては文字や絵で書いて意思を確認するようにしています。 ・保護者の方については現在、お手紙やHUGの両方で、プログラムやイベント企画等の参加の可否の確認をしたり、お子さま自身に意思確認をしたりと、数通りの方法でお伝えするようにはしています。お返事がない場合は、電話等のご連絡で必ず確認できるようにしています。
⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	11	2		・連絡ノートの電子化など全体的にペーパーレス化は素晴らしいと思います。データ化して子どもたちと接する時間を増やしてほしいです。 ・ホームページはあまり更新されていない。	・保護者の方々にも、また職員もペーパーレス化に向けて徐々に慣れていけるよう、時間をとって確認しながら進めてきました。職員自身も不慣れな部分もあり、ご迷惑をお掛けすることも多々ございますが、正確性を担保できるよう日々努力しております。 ・現在、HPの見直しも進めており、更新が滞って申し訳ございません。 ・活動概要や行事予定等についてはHUG上でお知らせするように移行しておりますが、HPでもご紹介できるように進めてまいります。 ・自己評価につきましては、HP上で公表しております
⑭	個人情報に十分注意している	12	1			・毎月のお便りの写真等の掲載については、HUG上での公開になり、写真の拡大時に顔や氏名NGのお子さまが映らないように、作業時に複数の目でチェックを行っています。 ・今年度はHUGを導入しサービス提供記録、サービス提供実績表、利用申し込み表は土はペーパーレス化し、電子署名を導入したことで、押印お願いなどを行うスタッフの業務軽減にもつながっています。 ・請求書・領収書については現在、書面配布と日付が義務付けされているため、氏名欄を大きくしました。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	7	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所に訪問する機会がほとんどないため、不明。</li> <li>・マニュアルを見たことがない。</li> <li>・私が周知していないだけかもしれないです…すみません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのマニュアルは職員がいつでも確認できるように支援室内の職員室ドアに貼っていますので、施設にお越しの際はぜひご確認ください。</li> <li>・防犯マニュアルは毎年夏に行っている多摩中央警察をお呼びしての防犯訓練時にも子どもたちと確認しています。</li> <li>・感染症マニュアルの説明版は玄関ホール（アルコール置場の棚の上）にも設置していますので、ご覧ください。</li> </ul>
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	12	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・暗闇体験が良かったです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震火災訓練は夏休みと冬休みに1週間ずつ2週間行いました。避難場所となっている第3中学校まで歩く訓練も行っています。</li> <li>・夏休みには稲城消防署の方をお呼びの消火訓練や「暗闇体験」を行いました。</li> <li>・11月にも寒さの中での「暗闇体験」を行いました。</li> <li>・1月15日～21日には災害用伝言ダイヤル(171)の体験利用を保護者の皆様にもご参加していただきました。</li> </ul>
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	8	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用時間が短い</li> <li>・生きしぶるときもありますが、基本楽しそうです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用時間が短いお子さまについては学校の下校時刻との兼ね合いもありますが、当施設は他の事業所よりも支援時間を長く設定しています。成長著しい高学年や中学生にとっては、斜めの大人との関係が重要になってきます。自立心や行動範囲の拡大、同年代との交流やストレスも出てきます。お子さまにとってあのねのお家の利用の必要性や目的の確認が大事になってくると感じています。本人の意見を聞き、短時間なりの過ごし方をみつけ、「来てよかった、またね」という想いを持っていてくれると嬉しいです。当施設は他の事業所よりも支援時間を長く設定していますので、できるだけ早退がない状態でプログラムに参加していただくと仲間意識が育ってくると感じています。体力等も個々に違ってきますので利用回数や時間についてはご相談ください。</li> </ul>
	⑱	事業所の支援に満足している	9	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧に見てくださっていますが、まだ管理責任者が決まっていないのかな？と思います。</li> <li>・いつもありがとうございます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管が不在になって以降は支援会議やスタッフミーティングを毎月3回(6時間) 行い、お子さまひとり一人の発達の様子を共有してきました。ケア会議も重ねてスタッフ間での共通認識をもって、連携しながら支援にあたっています。</li> <li>【再掲】・児童発達支援管理責任者不在で支援計画の更新ができず、皆様にはご迷惑をおかけして大変申し訳ございません。</li> <li>・昨年度から東京都と継続的に相談を重ねてきました。開設以来、児童発達支援と放課後等サービスの規模別多機能事業所として、児童発達支援管理責任者は2名配置が必要でしたが、一体型多機能に変更することで、児童発達支援の児童発達支援管理責任者が兼ねるよう変更届を提出しました。</li> <li>・個別支援計画は順次作成を進めてまいります。</li> <li>・今後は、児童発達支援管理責任者不在を防ぐために、法人内で複数の児発管を養成し配置していく方針です。</li> <li>長期不在にもかかわらず、変わらず、変わらず「あのねのお家」に通って来てくれた子どもたちと、何よりもご利用くださり、支えてくださいました保護者様のご理解があってのこと心より御礼申し上げます。</li> <li>あのねのお家らしい支援の質を高めていけるよう職員一同研鑽を重ねてまいります。</li> </ul>

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等サービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。